

事業完了報告書

調査研究期間等

調査研究期間	令和3年4月28日 ~ 令和4年3月1日
調査研究事項	<p>《委託研究：夜間中学における教育活動充実に係る調査研究》 VI. その他の夜間中学における教育活動充実に関すること 《具体的な研究例》 ア：高齢者や外国人向けのカリキュラム開発 キ：経済的負担を考慮した効果的な学校行事や校外活動等の在り方について</p>
調査研究のねらい	<p>本市夜間学級における令和3年5月1日現在の在籍生徒数は106名と全国の夜間学級の中でも大規模であり、10代から80代後半までの幅広い年齢層に加え、中国やベトナムなど、様々な国籍の生徒が在籍している。</p> <p>外国籍の生徒については、全体の約8割（国籍は12ヶ国）を占めており、「あいうえお」の基礎的な学習から開始する生徒も多数在籍している。</p> <p>このような状況の中、言語や文化の違いなどで、日本語によるコミュニケーション不足に陥り、学校生活になかなか馴染むことができない生徒が出てきている。</p> <p>これらのことから、本市夜間学級では、日本語の習熟度の低い生徒に対する、日本語能力を向上させることを課題とし、日本語のコミュニケーションのつまずきをなくすことが、国籍の異なる多様な生徒同士の人間関係づくりにつながっていくと考える。</p> <p>日本語能力向上の取組の一つとして、生徒に対し、音楽を用いた日本語指導法を実施することや生徒の実生活に即した日本語のテキストを作成することで、生徒の日本語能力の向上を図る。</p> <p>音楽を用いた日本語指導について、音楽を用いることにより、日本語の理解力の向上、正しい発音の習得、そしてイントネーションが改善される効果、さらに生徒同士のコミュニケーション能力の向上を期待する。</p> <p>生徒が日本語歌詞の曲で構成されているミニコンサートに向けて、どこまで日本語の歌詞の単語やフレーズの意味を理解できたのか、どのくらい日本語の歌詞のフレーズを言えるようになったのかななどを、授業でのペアワークやパフォーマンステストで定期的に検証し、今後の学習活動に生かしていく。</p> <p>その他の取組としては、生徒の実生活に即した日本語のテキストを作成し、授業で用いることで、さらなる日本語能力の向上を図る。テキストが実生活に即した日本語の単語や文で構成されているので、生徒自身も身近で慣れ親しみやすく、言語学習につまずくことなく、継続できる効果が期待できる。テキスト内の単語や文章を定期的にテストすることで生徒の日本語能力の理解度を検証し、日本語能力向上の</p>

	<p>充実を図る。</p>
<p>調査研究の成果</p>	<p>VI. その他の夜間中学における教育活動充実に関すること 《具体的な研究例》 ア：高齢者や外国人向けのカリキュラム開発 キ：経済的負担を考慮した効果的な学校行事や校外活動等の在り方について 【4月～】 ○テキスト作成の調査研究 ・年6回（6月、7月、9月、10月、11月、1月）、教材作成等検討委員会を開催し、学校生活に必要な言葉を調査するとともに、それらに関する各国の生活習慣やマナーを把握し、生徒の興味関心を引くことができるようテキストの研究をした。 また、習熟の程度に応じたテキストを作成したことにより、「あいいうえお」等の基本的な学習から始まった生徒が次は言葉をつないで文にすることができるようになったり、少しレベルの高い生徒については、複数の言葉をつなぎ文章を作ることができるようになるなどの成果が見られた。</p> <p>【9月】 ○その他の取組 ・「よみかきこうりゅうかい」で募集される「えんぴつポスター」作成に取り組んだ。また、作品を校内に展示することにより、日本語を「書くこと」に対する生徒の意識の向上に努めた。</p> <p>【1月】 ○習熟度別検討会議を実施した。 ・習熟度別テキストの成果と課題を教職員で共有した。</p> <p>【成果】 ・習熟度別テキスト（基礎編）では、「こんばんは」や「さようなら」等の挨拶、「新聞」「病院」等の単語、「どこで働いていますか」等のフレーズ、習熟度別テキスト（発展編）では、「電気製品を買うなら大阪の日本橋がよいです。」等、どちらのテキストも実生活に関する内容を盛り込むことで、生徒の興味関心を引くことができる内容となっている。</p> <p>【次年度に向けた改善点】 ・「読むこと」「書くこと」の比率が多いので、今後は、「話すこと（発表）」「話すこと（やりとり）」の内容を盛り込んだ方がよいという意見が出た。 ・「関西弁」等のイントネーションを盛り込んだ方が、より実生活に即した内容になるのではないかという意見が出た。 これらの意見を踏まえ、次年度以降、改善していく。</p> <p>【2月】</p>

	<p>○学習発表会</p> <ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症拡大の影響及び蔓延防止等重点措置に伴い、2月に予定していた学習発表会は実施できなかった。 <p>○ミニコンサート計画立案及び実施に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none">・令和4年2月8日（火）に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響及び蔓延防止等重点措置にともない開催中止となった。 <p>【通年】</p> <p>○日本語理解度を測るテスト</p> <ul style="list-style-type: none">・日本語の理解度を測るために、習熟度別テキスト内の単語や文章のテストを定期的実施した。・定期的にパフォーマンステストを実施することで、簡単な挨拶や基本的なフレーズ等の定着を図った。 <p>○朝鮮半島の伝統打楽器「チャンゴ」演奏の取り組みによる多文化理解の推進</p> <ul style="list-style-type: none">・有志による「チャンゴ・サークル」を週1回実施した。 <p>また、音楽の授業の単元の中に、チャンゴを取り入れた学習を実施したことにより、異国の文化を学び、尊重し合い、多文化理解の取組を推進した。</p>
--	---